

2024 年 7 月 5 日

第 5 期決算公告

株式会社 Finatext
東京都千代田区九段北 1 丁目 8 番 10 号
代表取締役 木下あかね

貸借対照表

2024年3月31日現在

単位：千円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,553,330	流動負債	448,122
現金及び預金	1,119,230	買掛金	2,732
契約資産	76,160	未払金	337,815
売掛金	279,140	未払費用	10,748
未収入金	41,382	未払法人税等	70,175
立替金	15,252	預り金	6,643
前払費用	5,266	前受収益	3,626
その他の流動資産	518	固定負債	24,133
		信託型ストックオプション関連損失引当金	24,133
固定資産	245,599	負債合計	472,255
有形固定資産	2,909	純資産の部	
器具備品	2,909	株主資本	1,326,674
無形固定資産	221,320	資本金	10,000
ソフトウェア	138,677	資本剰余金	652,577
ソフトウェア仮勘定	82,643	その他資本剰余金	652,577
投資その他の資産	21,369	利益剰余金	664,097
繰延税金資産	21,369	その他利益剰余金	664,097
		繰越利益剰余金	664,097
		純資産合計	1,326,674
資産合計	1,798,930	負債純資産合計	1,798,930

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記 収益及び費用の計上基準

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日) および「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 30 号 2021 年 3 月 26 日) (以下「収益認識会計基準等」という。) を適用しており、主要な事業における主な履行義務の内容および収益を認識する通常の時点は以下のとおりです。

i 金融インフラストラクチャ事業

金融インフラストラクチャ事業は、金融サービスを運営するのに必要となる複雑な基幹システムを、クラウド上で SaaS 型のシステムとして、顧客に提供しております。当該ソフトウェアの受注開発に係る収益認識については、当社グループが提供する業務を履行義務として識別しております。

ソフトウェアの受注開発に係る契約は、進捗部分について成果の確実性が認められ、財又はサービスに対する支配が顧客に一定の期間にわたり移転するため、財又はサービスを顧客に移転する履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益を認識する方法によっております。なお、履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、主としてコストに基づくインプット法によっております。また、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積ることができないが、当該履行義務を充足する際に発生する費用を回収することが見込まれる場合には、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積ることができる時まで、一定の期間にわたり充足される履行義務について原価回収基準により収益を認識しております。

ii ビックデータ解析事業

ビッグデータを保有する企業のデータを解析し、解析結果をライセンスとして外部に販売するデータライセンス事業と、金融機関や事業会社に対して、保有するビッグデータを活用したマーケティングやサービス改善、業務効率向上の支援を行い、開発委託費等を受領するデータ解析支援サービス事業を行っております。

データライセンス事業においては、クラウドサービス等のライセンスの性質がアクセス権である場合には一定の期間にわたり収益を認識しております。データ解析支援サービス事業においては、データ引渡時において物品に対する支配が顧客へ移転するため、引渡時点で収益を認識しております。

iii フィンテックソリューション事業

ソリューション事業では、金融機関向けにデジタルトランスフォーメーション及びデジタルマーケティングの支援として、ソフトウェアの受注開発及びサービスの提供を行っております。ソフトウェアの受注開発に係る収益認識については、当社グループが提供する業務を履行義務として識別しております。

ソフトウェアの受注開発に係る収益認識については、上記金融インフラストラクチャ事業のソフトウェアの受注開発と同様となります。